

令和5年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110	伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり本区の特色ある伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					77.0%					80.0%
実績	71.6%				73.7%					
指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					39.0%					50.0%
実績	24.1%				26.4%					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
墨田区の歴史や伝統文化を将来にわたり継承、発展させるため、今後も資料の収集・保存、展示、調査研究等の活動を積極的に展開していく必要があるが、区民、観光客を含む多くの人にそれらの魅力をいかに発信していくかが課題といえる。	R2	86,383
	R3	89,335
	R4	341,157

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	所有する文化財等を活用し、墨田の歴史・文化を区民に発信していくという点で一定の成果は得られている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
文化財の保護や保存、普及、活用に区が取り組むべき必要性は高く、これまでも調査研究の成果を展示や講座等の開催など様々な取り組みを行うことで、一定の成果を上げることができた。	
【今後の具体的な方針】	
区民が、すみだの歴史や文化にふれる機会を増やすことで郷土に対する理解や愛着が深まり、将来にわたり伝統文化を継承、発展させる。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	文化財保護事業	24,842	3,339	28,181	154	現状維持
					153	令和4年度
2	埋蔵文化財発掘調査と保管場所	20,838	13,131	33,969	60	現状維持
					101	令和4年度
3	すみだ郷土文化資料館管理運営	263,131	8,997	272,128	5,000	現状維持
					3,763	令和4年度
4	すみだ郷土文化資料館事業	26,689	13,221	39,910	5,000	現状維持
					3,763	令和4年度
5	立花大正民家園維持管理	5,657	2,454	8,111	2,000	現状維持
					1,785	令和4年度

令和5年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位
事業名	文化財保護		1
目的	文化財の保護・管理を適切に行うことで、先人の遺した大切な文化財を後世に引き継ぐとともに、区内の文化財を区民に周知することにより、区民が区の歴史や伝統文化に関心を持ち、文化を継承し、発展させていく。		主管課・係（担当）
			地域教育支援課・文化財担当 03-5608-6310
対象者	区登録文化財の保護・保存にあたってはいる方及び区内の歴史や文化財への普及・啓発を図る対象である区民・観光客		
根拠法令	・文化財保護法		
関連計画	・墨田区文化財保護条例及び施行規則		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤2、会計年度任用職員5
事業内容	地域の文化遺産を地域全体で保存・活用していくため、すみだの歴史や文化に区民がふれる機会を増やし、郷土に対する理解・愛着を深め、郷土愛の醸成や文化の継承を図っている。そのための事業として、文化財の保護と活用及び伝統工芸の保存普及等を行っている。		
経過	開始年度		終了予定
	昭和52年9月1日 墨田区文化財保護調査員設置要綱を設置、区内文化財の全体調査を開始 昭和57年4月1日 墨田区文化財保護条例及び施行規則を設置、区内文化財の登録を開始		
議会質問の状況			
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・例年10～11月に東京都主催「東京文化財ウィーク」に参加している。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和2年度及び3年度に中止した、伝統工芸体験講座、史跡めぐりを令和4年度から再開した。		

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		23,394	22,932	24,783	22,152	25,143	31,345
A.決算額（令和5年度は見込み）		21,493	20,740	21,846	21,588	24,842	31,345
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		21,493	20,740	21,846	21,588	24,842	31,345
執行率（％）		91.9%	90.4%	88.1%	97.5%	98.8%	100.0%
B.人コスト		/	13,981	14,202	14,073	3,339	/
総事業決算額（A+B）		21,493	34,721	36,048	35,661	28,181	/
予算書P（令和5年度）	P255-13(1)(2)(3)	執行実績報告書P（令和4年度）			P195-14(1)(2)(3)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	文化財保護指導員報酬等	14,040	報酬	文化財保護指導員報酬等	14,327	報酬	文化財保護指導員報酬等	17,430
職員手当等	文化財保護指導員等期末手当	2,623	職員手当等	文化財保護指導員等期末手当	2,623	職員手当等	文化財保護指導員等期末手当	3,176
旅費	出張旅費	40	旅費	出張旅費	69	報償費	講師謝礼	25
需用費	消耗品費等	384	需用費	消耗品費等	82	旅費	出張旅費	86
役務費	回線使用料等	118	役務費	回線使用料等	110	需用費	消耗品費等	139
委託料	文化財調査委託経費等	1,947	委託料	文化財調査委託経費等	3,514	役務費	回線使用料等	315
使用料及び賃借料	サーバ使用料等	402	使用料及び賃借料	サーバ使用料等	411	委託料	文化財調査委託経費等	5,864
工事請負費	説明版設置工事	628	工事請負費	説明版設置工事	543	使用料及び賃借料	サーバ使用料等	471
負担金補助及び交付金	文化財保護奨励金	1,410	負担金補助及び交付金	文化財保護奨励金等	3,167	工事請負費	説明版設置工事	454
						負担金補助及び交付金	文化財保護奨励金等	3,385

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	史跡説明板設置数				単位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		132		目標	114	116	118	120
				実績	114	115	115	117
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	123	126	126	128	130	132
	実績	117	118	118				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	史跡説明板は、区の歴史や文化財を区民に知っていただくために非常に有用な施設である。経年劣化による取替えや、外国人観光客の増加に伴う英文の追加等、新規の設置以外にも取り組んでいることを踏まえ、目標値とした。ここ数年は、経年劣化による板面交換や金属部材の価格高騰等の理由で目標値に達していないため、令和4年度に目標値を見直した。令和4年度は板面交換のみ、令和5年度は新設1件、立替え1件の工事を予定している。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区登録文化財数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
166			目標	142	145	148	151	
			実績	142	144	147	148	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		154	158	154	158	162	166	
実績	149	150	153					
指標の選定理由及び目標値の理由								
文化財を登録・指定するために、積極的に調査を行い貴重な文化財を保護している。調査は1件ごとにかかりの時間を要することを踏まえた目標値とした。令和4年度に登録文化財候補や年間登録数を見直し、年間4件程度の登録を目指す。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財登録のための文化財調査及び文化財保護審議会の実施が適切に行われており、文化財の普及のための史跡説明板の設置や、文化財に関する刊行物の発行、史跡めぐり等も行っている。文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
文化財を保護するためには、それを調査し、その価値を認め、文化財登録して保護していく必要があり、効率性を求めることが難しい。また、その価値を区民に知っていただくことが保護につながるため、史跡説明板や刊行物等で文化財の周知を行っているが、今後も様々な機会を捉え、文化財の普及・啓発を図っていく必要がある。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	埋蔵文化財発掘調査と保管場所				2
目的	昭和25年に施行された文化財保護法及び平成11年制定の墨田区埋蔵文化財取扱要綱に基づき、墨田区内における埋蔵文化財の保存・活用に努める。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課・文化財担当
					03-5608-6310
対象者	埋蔵文化財に関心のある方、埋蔵文化財への普及・啓発を図りたい区民、区内に建設予定がある事業者及び関係機関				
根拠法令	文化財保護法				
関連計画	墨田区文化財保護条例及び施行規則				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2、会計年度2(うち、事務補助1)
事業内容	土地に埋蔵されている文化財である埋蔵文化財の保護を図るため、墨田区埋蔵文化財取扱要綱を定め、同要綱に基づき開発予定地において試掘調査を行うことにより、開発工事前の遺跡(文化財包蔵地)の発見に努めている。試掘によって発見された遺跡は、文化財保護法の趣旨が適切に守られるよう開発事業者に対して協力を求めることにより、遺跡の調査及び保護を行っている。また、遺跡から出土した遺物は、一般公開ができるよう整理・保存を進めている。				
経過	開始年度				終了予定
	昭和25年 文化財保護法施行 平成11年 墨田区埋蔵文化財取扱要綱施行				
議会質問の状況					
その他特記事項	令和2年度からひきふね図書館で区内で出土した埋蔵文化財の常設展示と企画展示を実施している。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		10,282	13,903	13,720	16,395	22,640	22,372
A.決算額(令和5年度は見込み)		9,461	11,398	11,976	14,587	20,838	22,372
財源	国	3,750	5,517	4,687	7,222	10,339	8,371
	都	1,312	2,140	1,843	2,908	4,483	3,582
	その他						
一般財源		4,399	3,741	5,446	4,457	6,016	10,419
執行率(%)		92.0%	82.0%	87.3%	89.0%	92.0%	100.0%
B.人コスト			3,495	3,586	3,518	13,131	
総事業決算額(A+B)		9,461	14,893	15,562	18,105	33,969	
予算書P(令和5年度)	P255-13(3)	執行実績報告書P(令和4年度)			P195-14(3)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	調査指導謝礼	52	報償費	調査指導謝礼	0	報償費	調査指導謝礼	233
需用費	消耗品	335	需用費	消耗品	573	需用費	消耗品	669
委託料	試掘調査等	14,059	委託料	試掘調査等	20,123	委託料	試掘調査等	21,328
使用料及び賃借料	PC借上等	142	使用料及び賃借料	PC借上等	142	使用料及び賃借料	PC借上等	142

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	埋蔵文化財包蔵地照会件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標	-	-	-	-
				実績	3,460	3,418	3,905	3,780
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
			目標	-	-	-	-	-
		実績	3,579	6,279	12231			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区の働きかけによって増減する値でないため、目標値は定めない。 令和3年度から「すみだまちづくりマップ」に包蔵地情報を掲載したため、当該サイトへのアクセス件数も照会件数に含めた。この効果により、窓口や電話での照会件数が前年度より減少し、事務の軽減を図ることができた(窓口2,573件、まちづくりマップ9,658件)。また、区公式ホームページの内容の見直しを行った。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	埋蔵文化財調査件数(試掘・本発掘)				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
60			目標	24	26	28	30	
			実績	12	24	30	36	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	32	34	60	60	60	
	実績	47	75	101				
指標の選定理由及び目標値の理由								
埋蔵文化財行政の実施状況は、調査実施件数で把握することが最も適切である。目標値の調査件数については、発掘調査は開発事業者の協力のもと実施していることや、開発行為の増減等の理由により、調査件数を大きく増やしていくことは難しい。令和4年度は、開発行為の増加や上記照会件数の増加等の理由により例年より調査件数が増えた。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
<p>内部評価 試掘調査及び本調査が増加しているが、埋蔵文化財を担当する指導員が1名しかいないため、職員の負担が過大である。事務的な業務を係全体でフォローしていく必要がある。</p> <p>外部評価 埋蔵文化財の照会が増加しているが、発掘調査等は事業者の負担が大きいため、事業者の理解と協力が不可欠である。今後も、事業者に必要な説明を行い理解を求めて円滑に実施していく必要がある。</p>

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	すみだ郷土文化資料館管理運営				3
目的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対象者					
根拠法令 関連計画	すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用1、委託先:(株)ELS:受付業務、(株)ユアン(清掃業務)
事業内容	すみだ郷土文化資料館の維持管理及び施設運営				
経過	開始年度	平成10年度	終了予定		
	平成10年4月12日 開館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)～5月31日(日)臨時休館 令和3年4月28日(水)～5月31日(月)臨時休館 大規模修繕工事のため、令和4年9月5日(月)～令和5年3月28日(火)臨時休館				
議会質問 の状況	令和2年決算特別委員会 施設の老朽化に対する対応について 令和3年決算特別委員会 施設の修繕予定と今後の展望について				
その他 特記事項	令和4年度 令和4年9月5日(月)～令和5年3月28日(火)臨時休館し 大規模修繕工事(空調設備、電気設備、外壁・屋上等の補修)を実施。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		18,287	20,349	22,049	21,080	296,883	23,314
A.決算額(令和5年度は見込み)		17,926	19,182	20,204	19,033	263,131	23,314
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	874	705	401	706	360	1,017
一般財源		17,052	18,477	19,803	18,327	262,771	22,297
執行率(%)		98.0%	94.3%	91.6%	90.3%	88.6%	100.0%
B.人コスト		10828	9,612	9,704	9,675	8,997	
総事業決算額(A+B)		28,754	28,794	29,908	28,708	272,128	
予算書P(令和5年度)	P259-1	執行実績報告書P(令和4年度)			P198-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費、消耗品等	5,143	需用費	光熱水費、消耗品等	4,617	需用費	光熱水費、消耗品等	6,392
役務費	清掃委託等	2,537	役務費	清掃委託等	3,408	役務費	清掃委託等	2,619
委託料	受付、空調保守等	7,816	委託料	受付、空調保守等	7,691	委託料	受付、空調保守等	10,792
使用料及び賃借料	展示・事務機器リース	1,550	使用料及び賃借料	展示・事務機器リース	1,313	使用料及び賃借料	展示・事務機器リース	1,347
工事請負費	空調・照明補修工事	1,745	工事請負費	大規模修繕	245,611	工事請負費	発電装置部品交換等	1,688
負担金補助及び交付金	受付等業務再開準備補助金	242	備品購入費	モニター機器購入	494	備品購入費	空気清浄機購入	476

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	講座・講演会等参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2600	令和7年度	目標	2300	2300	2300	2300
				実績	3652	3603	3674	1776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2600	1000	500	2000	2300	2600
	実績	323	286	867				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	講座・講演会等参加者の数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値については例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。令和4年度は大規模修繕による臨時休館を前提とした目標値。今後、参加者数の制限緩和に合わせて徐々に目標値を上げていく。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、催しの多くを中止。学校を会場に一部の民具体験学習のみ実施した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	入館者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
17000		令和7年度	目標	16000	16000	16000	16000	
			実績	13671	14155	14270	11966	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		17000	10000	5000	14000	15000	17000	
実績	6365	7457	3763					
指標の選定理由及び目標値の理由								
資料館の入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。令和4年度は大規模修繕のため9月上旬から3月下旬まで臨時休館した。今後は、コロナ感染症の鎮静化に伴い、減少した入館者数の目標値を徐々に上げていく。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を区内外に広く知ってもらおう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。 受付業務・清掃及び施設設備保守等の施設維持にかかる業務の委託化により、経費削減に努めている。

課題・問題点
令和4年度は年度の後半において約7か月にわたる大規模修繕工事を終え、懸案であった空調や照明等の電気設備などを更新するとともに、再開館に合わせて、外壁の装飾、大型モニターの設置、常設展示パネルの刷新などを行った。今後も資料の保存・継承と活用のほか、来館者増へ向けて館の魅力向上のため、ハード面の整備を引き続き進めていく。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	すみだ郷土文化資料館事業				4
目的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対象者					
根拠法令 関連計画	博物館法、すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用4
事業内容	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育・学術及び文化の発展に資するため、資料の収集・保存及び展示に関する事業などを行う。				
経過	開始年度	平成10年度	終了予定		
	平成10年4月12日 開館 20年度:開館10周年記念特別展を実施 24年度:東京スカイツリー開業記念年間特別展示を実施 26年度:シリーズ探訪向島をテーマに企画展を実施 27年度:終戦70年平和祈念展示を実施 29年度:区制70周年記念展示を実施 30年度:開館20周年記念特別展を実施				
議会質問 の状況	令和3年予算特別委員会 学芸員の処遇について、英語対応のその後について 令和3年第4回定例会本会議 隅田公園から誘客するための動線の工夫について 令和3年第4回定例会子ども文教委員会 入館者増へ向けた取組について、関東大震災の展示について 令和4年第1回定例会本会議 出張展示の実施について 令和4年決算特別委員会 資料館に図書館機能を付加することについて				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		35,727	28,073	31,974	32,285	29,228	37,017
A.決算額(令和5年度は見込み)		34,147	26,232	27,700	28,616	26,689	37,017
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	489	307	176	311	360	1,017
一般財源		33,658	25,925	27,524	28,305	26,329	36,000
執行率(%)		95.6%	93.4%	86.6%	88.6%	91.3%	100.0%
B.人コスト		15,750	13,981	14,288	14,073	13,221	
総事業決算額(A+B)		49,897	40,213	41,988	42,689	39,910	
予算書P(令和5年度)	P259-2	執行実績報告書P(令和4年度)			P198-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	学芸員、事務員	17,053	報酬	学芸員、事務員	16,900	報酬	学芸員、事務員	17,449
職員手当等	学芸員、事務員	3,454	職員手当等	学芸員、事務員	3,415	職員手当等	学芸員、事務員	3,469
報償費	ボランティア謝礼	6	報償費	ボラ謝礼他	0	報償費	ボラ謝礼他	807
旅費	職員	46	旅費	職員	86	旅費	職員	126
需用費	ポスター等印刷、消耗品	1,501	需用費	ポスター等印刷、消耗品	2,226	需用費	ポスター等印刷、消耗品	4,647
役務費	チラシ郵送、駅貼り広告等	1,438	役務費	チラシ郵送、駅貼り広告	354	役務費	チラシ郵送、駅貼り広告	3,256
委託料	展示パネル作成等	1,992	委託料	パネル作成等	1,173	委託料	パネル作成等	4,133
使用料及び賃借料	展示品・機器借用等	940	使用料及び賃借料	展示品・機器借用	354	使用料及び賃借料	展示品・機器借用	680
備品購入費	浮世絵等資料購入	2,186	備品購入費	浮世絵等資料購入	2,185	備品購入費	浮世絵等資料購入	2,450

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	講座・講演会等参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2600	令和7年度	目標	2300	2300	2300	2300
				実績	3652	3603	3674	1776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	2600	1000	500	2000	2300	2600	
	実績	323	286	867				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	講座・講演会等参加者の数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値については例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。令和4年度は大規模修繕による臨時休館を前提とした目標値。今後、参加者数制限緩和に合わせて徐々に目標値を上げていく。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、催しの多くを中止。学校を会場に一部の民具体験学習のみ実施した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	入館者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
17000		令和7年度	目標	16000	16000	16000	16000	
			実績	13671	14155	14270	11966	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	17000	10000	5000	14000	15000	17000		
実績	6365	7457	3763					
指標の選定理由及び目標値の理由								
資料館の入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。令和4年度は大規模修繕のため9月上旬から3月下旬まで臨時休館した。今後は、コロナ感染症の鎮静化に伴い、減少した入館者数の目標値を徐々に上げていく。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を区内外に広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。 区の郷土文化にゆかりの深い資料の収集・保存を的確に行い、その資料をもとに魅力ある展示等を企画・発信するとともに、図書館や大学、観光部署等と連携し、より多くの人々にすみだの歴史や文化に対する理解を深めていただく。

課題・問題点
展示等の事業内容を工夫するとともに、誘客に向けて発信力を強化し、より多くの人々にすみだの歴史や文化に親しみ、理解してもらうことが課題である。また、学校教育との連携を深め、ICT機器の活用など実施方法を工夫し子どもたちの興味・関心を喚起することに加え、関係部署やボランティアとも連携しながら、事業の新展開を図っていく必要がある。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	立花大正民家園維持管理				5
目的	墨田区立公園(立花大正民家園)内にある旧小山家住宅を、区の指定文化財として保存するとともに、人形展などの事業や建物内居室の有料貸出を通じて活用する。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対象者					
根拠法令 関連計画	墨田区文化財保護条例、都市公園法、墨田区公園条例、同施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用1、委託先:シルバー人材センター
事業内容	<p>墨田区立立花大正民家園の運営及び維持管理 立花大正民家園旧小山家住宅に係る使用の承認、取消し及び変更の承認並びに使用料の減額免除及び返還の承認並びに維持管理 立花大正民家園旧小山家住宅での展示事業の実施</p>				
経過	開始年度	平成11年度	終了予定		
	<p>平成10年度 建物の寄贈を受ける 平成11年度 文化財登録(平成11年2月)開園(平成11年7月1日) 平成16年度 生涯学習課文化財担当より移管 平成22~23年度 東日本大震災の発生に伴い平成23年3月12日から12月31日まで休園 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)~5月31日(日)及び 令和3年4月27日(火)~5月31日(月)臨時休園</p>				
議会質問 の状況	<p>令和2年予算特別委員会 民家園の利用促進について 令和3年決算特別委員会 民家園の利用促進について</p>				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		5,912	6,445	5,417	5,965	5,965	6,864
A.決算額(令和5年度は見込み)		4,879	5,541	4,657	5,511	5,657	6,864
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	29	33	4	33	24	33
一般財源		4,850	5,508	4,653	5,478	5,633	6,831
執行率(%)		82.5%	86.0%	86.0%	92.4%	94.8%	100.0%
B.人コスト		2,953	2,621	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		7,832	8,162	7,304	8,150	8,111	
予算書P(令和5年度)	P255-14	執行実績報告書P(令和4年度)			P195-15		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費、消耗品	134	需用費	光熱水費、消耗品	130	需用費	光熱水費、消耗品	241
役務費	樹木剪定等	1,957	役務費	樹木剪定等	1,198	役務費	樹木剪定等	2,346
委託料	管理業務等委託	3,013	委託料	管理業務委託	3,234	委託料	管理業務委託	3,500
使用料及び賃借料	消火器リース等	10	使用料及び賃借料	消火器リース	10	使用料及び賃借料	消火器リース	10
工事請負費	維持補修費	397	工事請負費	維持補修費	286	工事請負費	維持補修費	767

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	住宅内の特別展示回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
	実績	0	2	2				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設への関心を高め、入園者数を増加させるために有効な特別展示（雛人形展と五月人形展）回数を指標とした。施設に負荷をかけず文化財として保護していくために実施回数は現状維持が適切である。令和4年度は、コロナによる休園がなかったため、雛人形展、五月人形展とも平成30年度以来、通常開催に戻った。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	入園者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
2000		令和7年度	目標	2000	2000	2000	2000	
			実績	2088	1911	1822	1429	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		2000	2000	2000	2000	2000	2000	
実績	1521	1658	1785					
指標の選定理由及び目標値の理由								
入園者数に応じ、区の指定文化財である旧小山家住宅に対する関心度を確認することができる。令和4年度は、コロナによる休園がなかったため、平成30年度以来、通年開園に戻った。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和4年度は4年ぶりに通年開園となり、来園者数がコロナ前に近づきつつある。旧小山家住宅は、区の貴重な指定文化財であるため、常に一定の補修を行いながら耐久性・安全性を確保した上での活用方法を検討していく。

課題・問題点
旧小山家住宅内を無料で一般公開する一方、公開による見学者が支障をきたさない条件下で住宅内を有料貸出している。築100年を超える建物のため、文化財保護審議会委員の助言を受け、老朽化した箇所を修繕していきながら運営する必要があり、保存と活用の両立を図っていく必要がある。